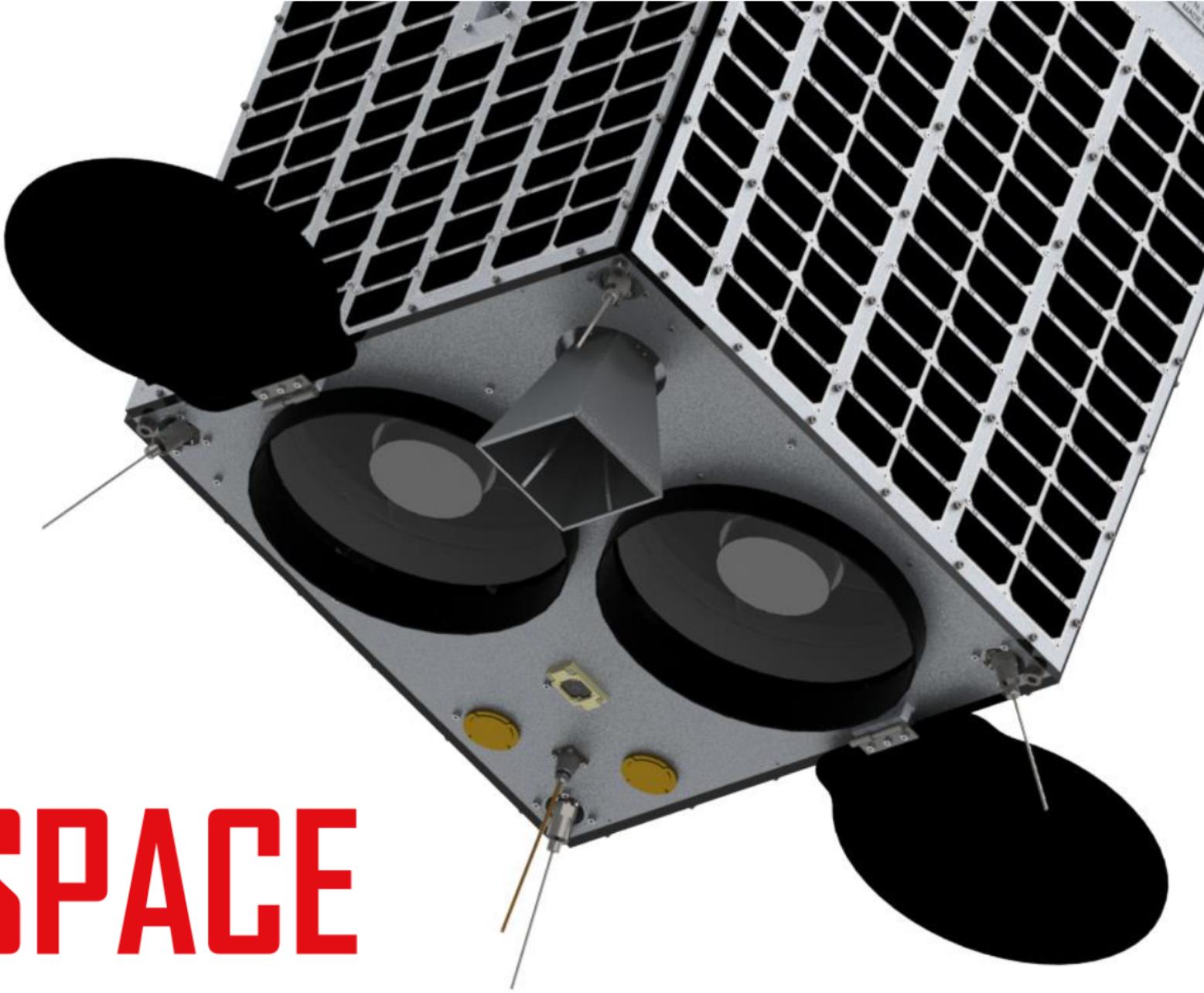




AXELSPACE





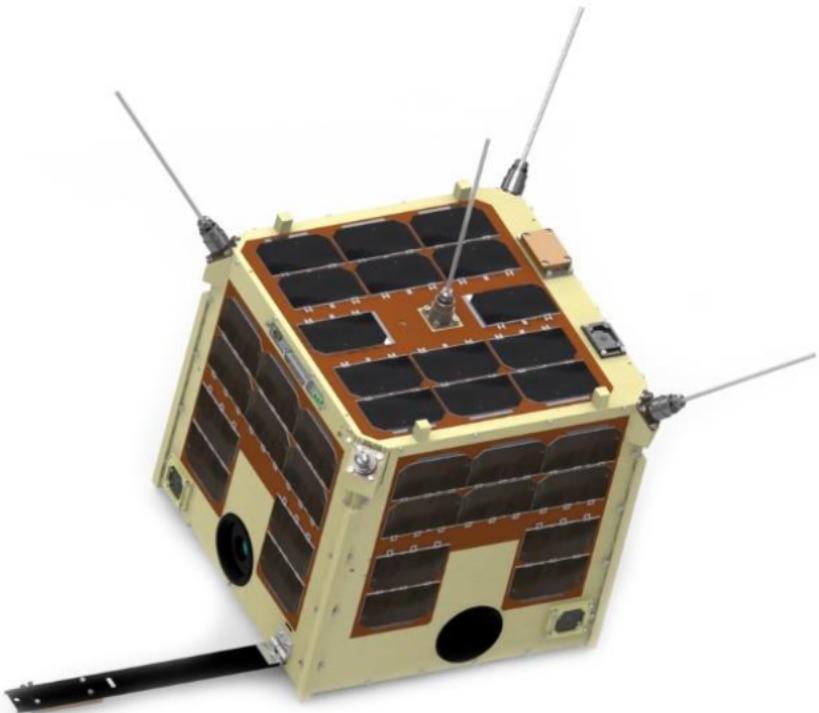
Microsatellite

Axelspace at a Glance

Establishment	August 8, 2008
President	Yuya Nakamura
Employees (as of Mar 2018)	47 (30 engineers, 13 from outside Japan), 12 intern students
Business Content	<ul style="list-style-type: none">✓ Solutions based on microsatellite technology✓ Design and production of microsatellites and related components✓ Launch arrangements and operational support✓ Business related to microsatellite data
Vision	Space within Your Reach



Nov. 21, 2013

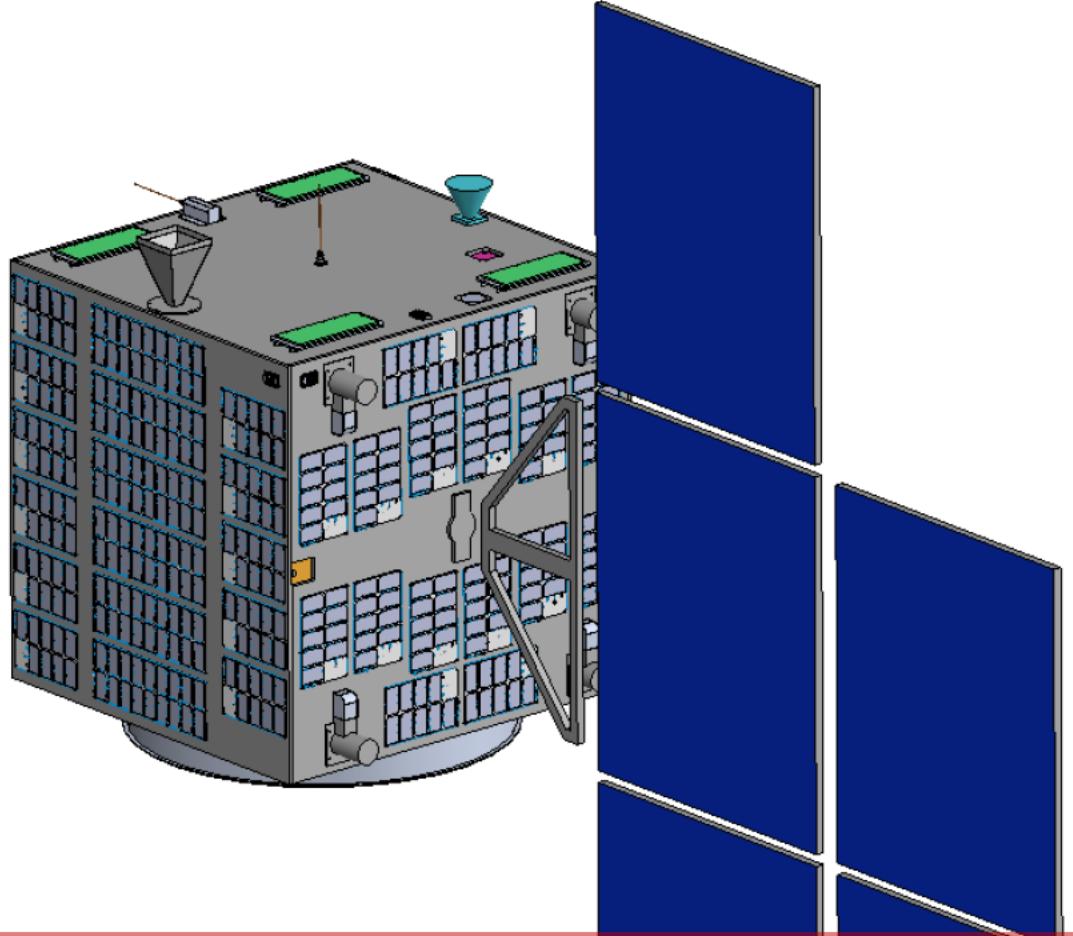
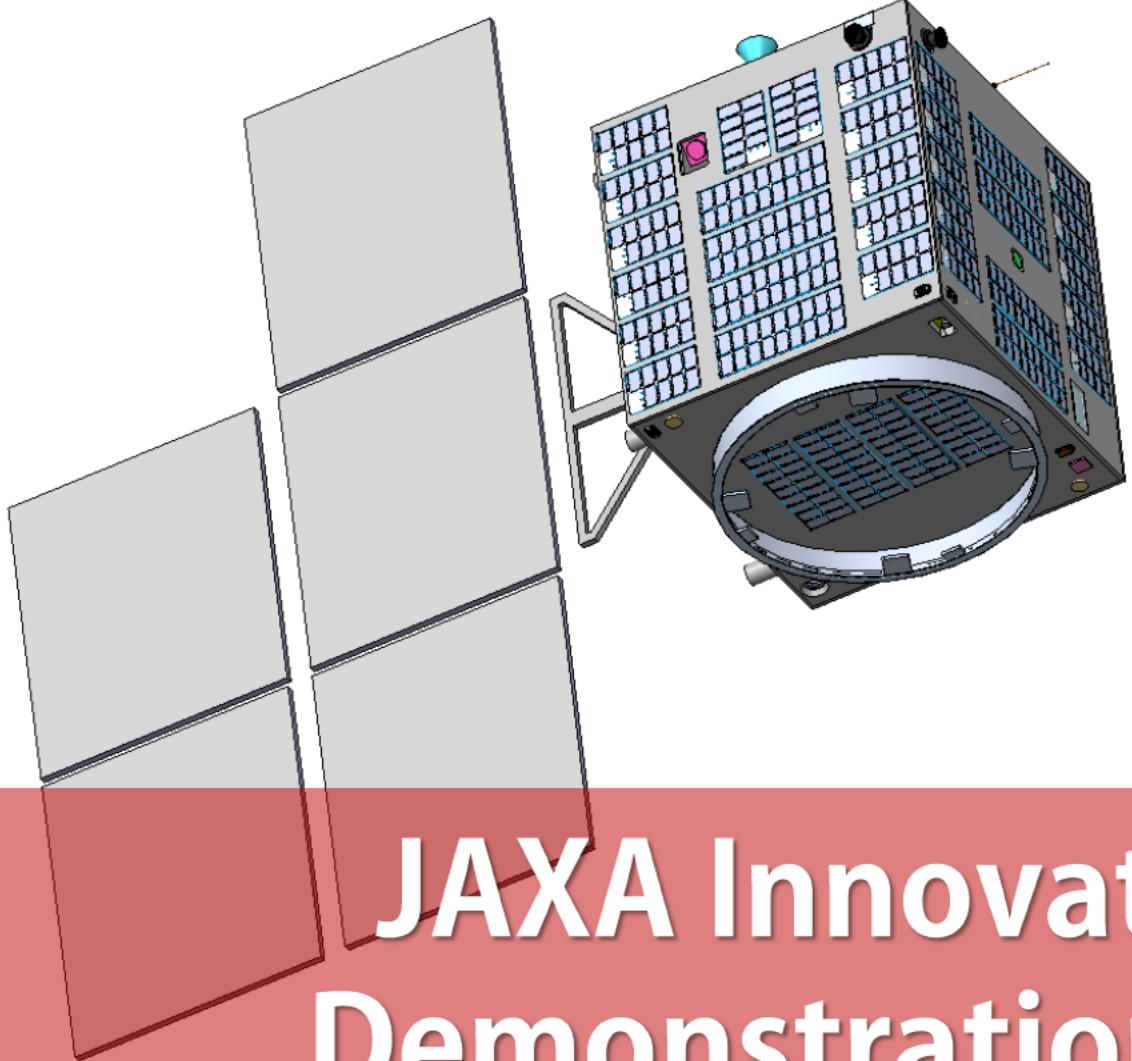


Nov. 6, 2014



Jul. 14, 2017





JAXA Innovative Technology Demonstration Satellite (2018)

革新的衛星技術実証プログラム

Fundraising of 19億円 (2015.11)

Venture Capitals



Energy
Environment
Investment



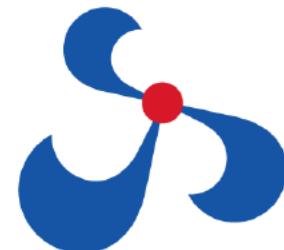
SMBC



Business Enterprises



MITSUI & CO.

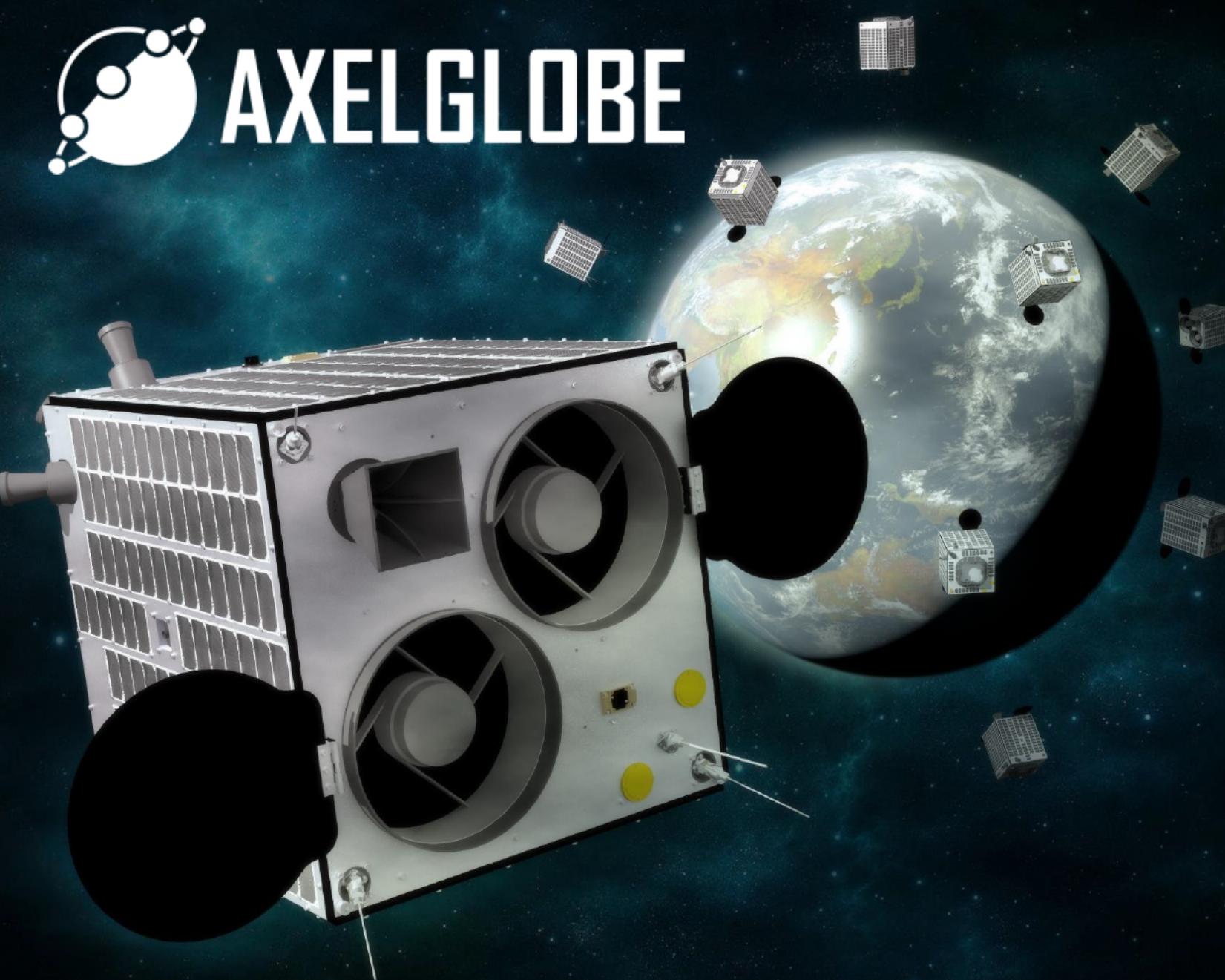


SKY Perfect JSAT
Group





AXELGLOBE



**Monitoring
whole world,
every day**

2018

First launch

2022

**AxelGlobe constellation
completes**



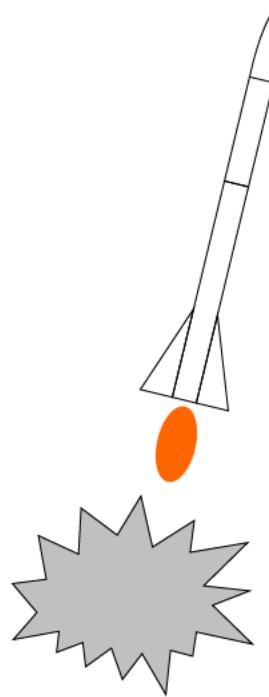
Our first step is...

CanSat

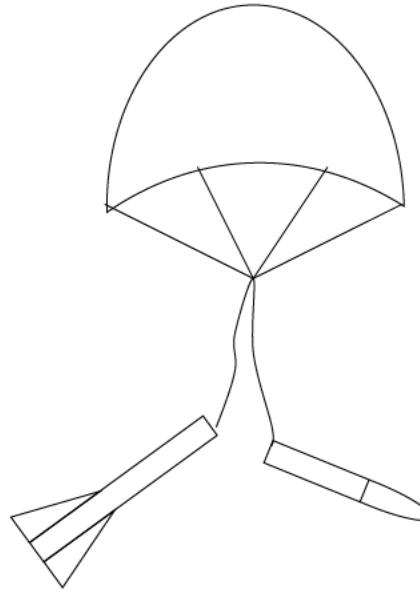




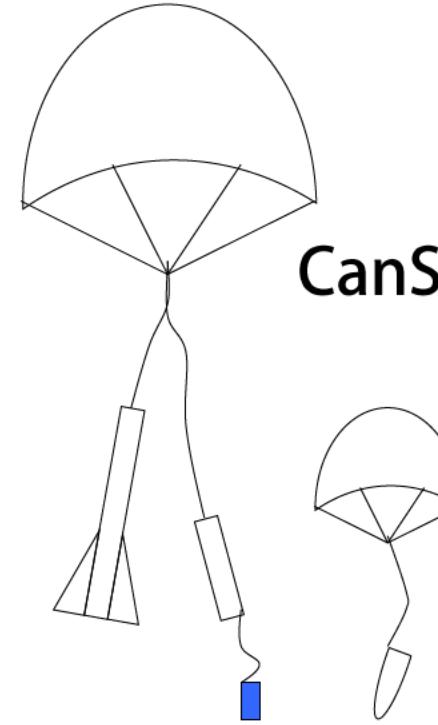
Up to 4km alt.



launch

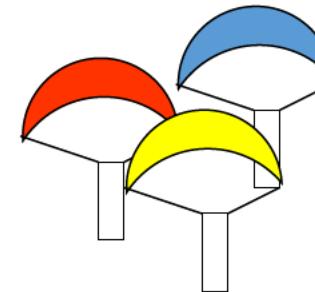


carrier



CanSat deployment

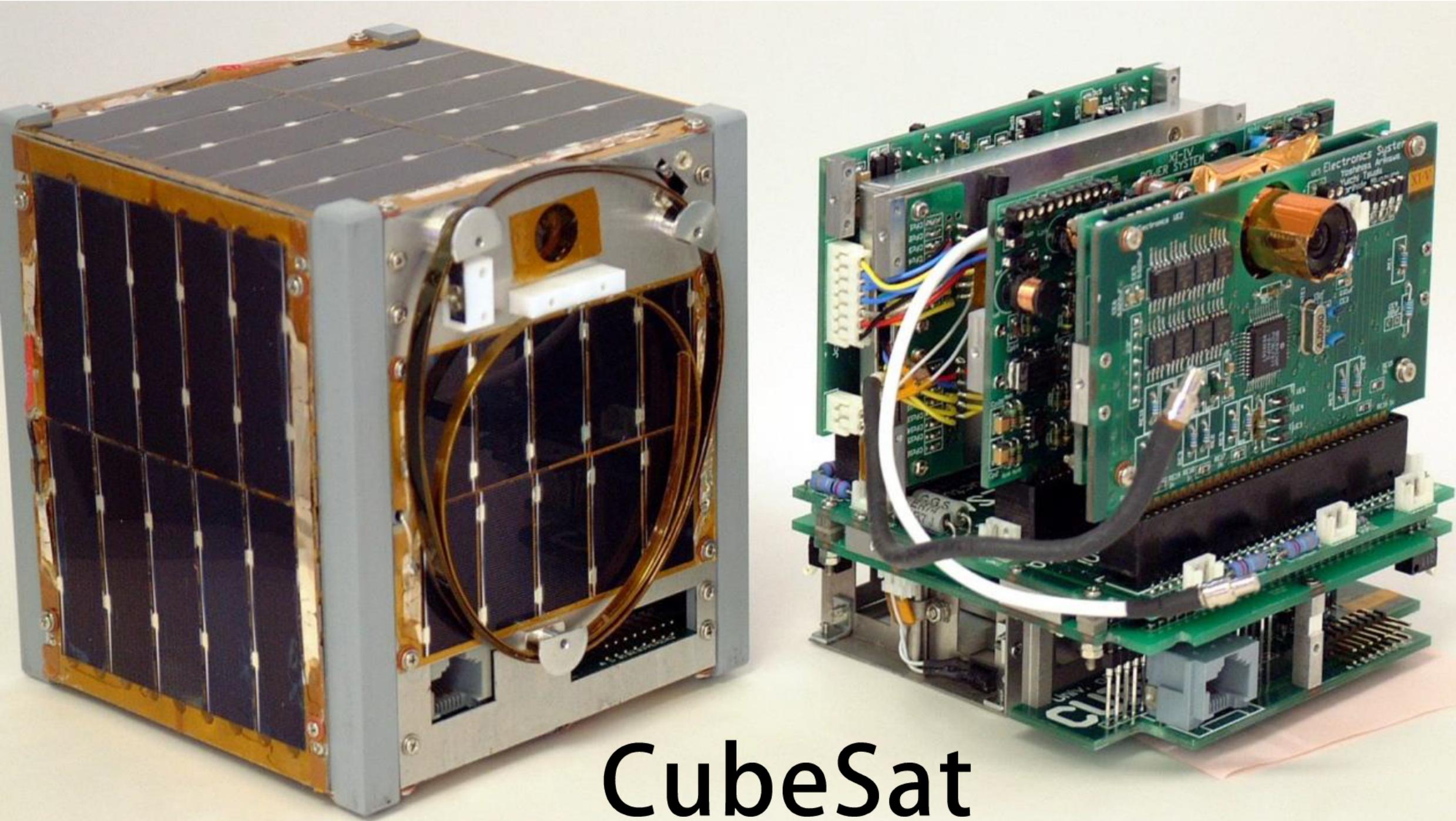
nosecone



15 – 20 minutes
to land







CubeSat





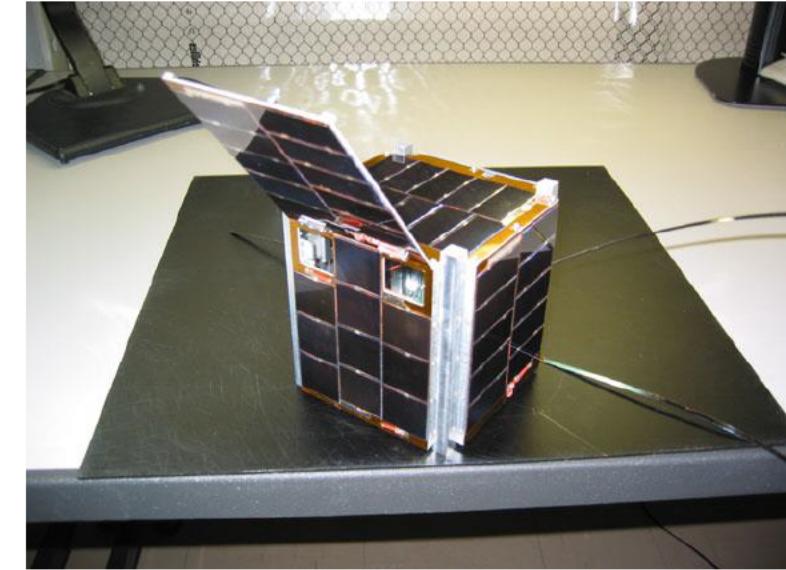
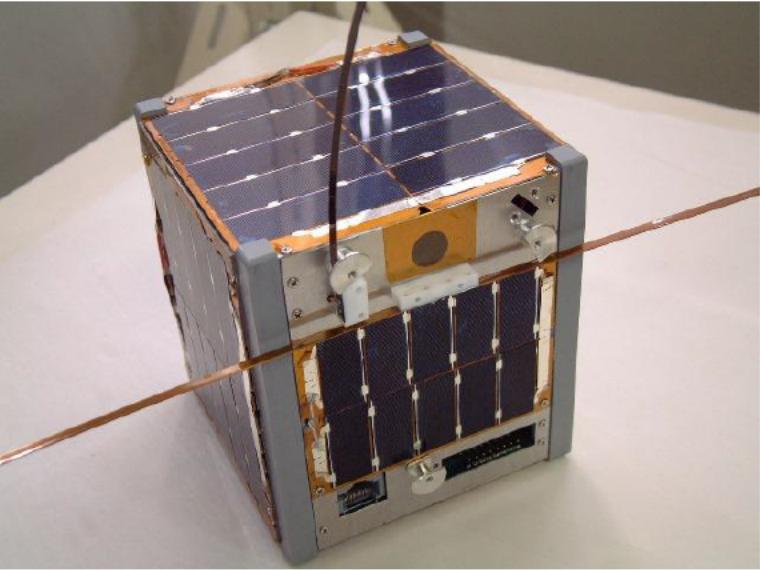


CubeSat Goes To Space!

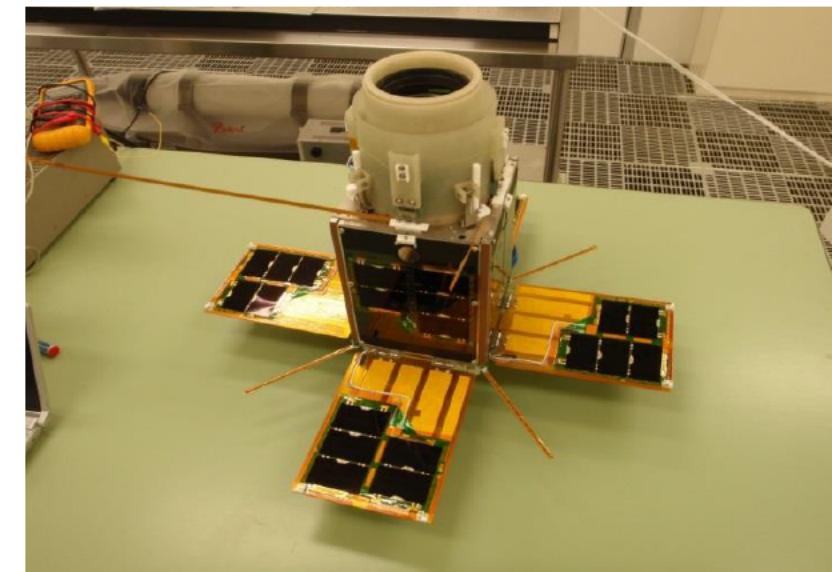
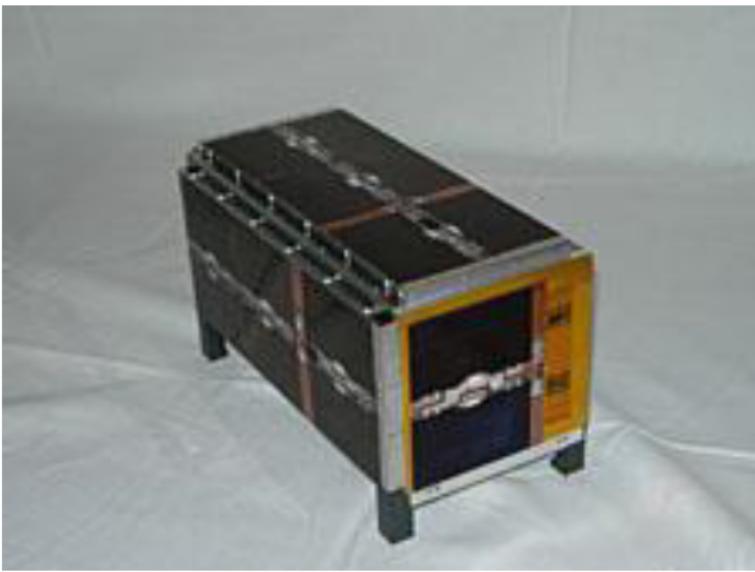
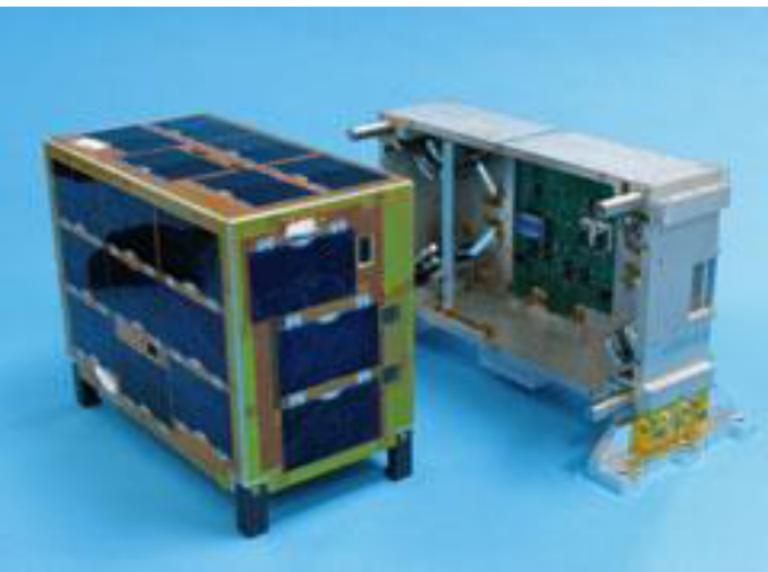
June 30, 2003







Successful Student Satellites





事業化までの道筋

- 2003年に東大・東工大が世界で初めて成功させた超小型衛星技術は世界に広まりつつあったが、2007年でも大学での教育用途がほとんどで、ビジネス利用などまだ誰も考えていなかった
- 東大・東工大は先行者として技術の蓄積がある。もう少し技術開発を進めれば実用的なものになる自信があった
- 超小型衛星企業は存在せず。最終手段として起業が残る。JSTの大学発ベンチャー支援制度を利用し、起業の準備を始める。
- 2008年初頭、強いニーズを持つウェザーニューズと出会い、検討が一気に進む
- 約半年後プロジェクト開始で合意
 - これによりアクセルスペースを起業。顧客を見つけられなければ起業しない予定だった



人材について

- 大学に存在する技術シーズへの注目は高まっており、大学発ベンチャーの存在感も増してきている。課題として経営人材の不足がよく挙げられるが、学生や卒業生が担うのが成功確率が高いように思う
 - この場合、当然ながら当該学生は技術に対する深い理解があり、ビジネスに100%コミットできる立場になる。企業経営に関する知識を身につける努力が必要だが、目標が明確であるがゆえに比較的乗り越えやすいハードルと言えるのではないか。教授はサポート役に
- 学生に起業に触れる機会を積極的に提供し、身近に感じてもらう仕組みが必要。東大アントレプレナー道場など



政府に期待したい役割

➤ 成功する大学発ベンチャーを増やすために、以下を提言したい。

1. 大学に起業家の卵を養成する役割を積極的に与える。学生による起業を増やす。
2. 技術開発フェーズのベンチャーには補助金、研究資金を積極的に提供する。
3. ある程度の技術開発フェーズを経たら見極めを行い、無駄な補助金注入を延々と続けるようとする。技術開発そのものを目的とするベンチャーは成功しない。
4. 勝てる可能性のあるベンチャーには、リスクマネーを積極的に投入する。平等の精神はベンチャーの世界には不要。集中的な支援がなければ世界に勝てない。
5. 政府が積極的にベンチャーのサービス・プロダクトのユーザとなる。欧米のように、ベンチャー中小からの調達割合を規定するのも有効。政府がユーザになることでベースの売上の確保につながり、また安心感・信頼感をもたらし民間投資もやりやすくなる。

A high-resolution satellite image showing a volcanic eruption. A large, dark, circular vent is at the center, from which a massive, billowing plume of white and grey smoke and ash rises into the sky. Numerous bright, glowing lava flows fan out from the base of the volcano, illuminating the surrounding terrain. The surrounding land is a mix of dark green forests and brown, agricultural fields.

Sensing the world.
Changing the future.



AXELSPACE